

**平成24年度進行管理・評価シート**  
**高岡市歴史的風致維持向上計画（平成23年6月8日認定）**  
（最終変更平成25年3月29日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施と推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	.....	2
2 都市計画法の活用	.....	3
3 屋外広告物に関する規制	.....	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 瑞龍寺保存修理事業	.....	5
3 勝興寺大広間及び式台ほか10棟保存修理事業	.....	6
4 市指定文化財保存修理事業	.....	7
6 市内町家等再生事業	.....	8
8 高岡御車山会館建設事業	.....	9
9 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	.....	10
10 山町筋道路整備事業	.....	11
11 片原町本郷一丁目線道路整備事業	.....	12
12 坂下町大町線道路整備事業	.....	13
13 瑞龍寺道整備事業	.....	14
16 高岡御車山保存修理事業	.....	15
17 高岡鋳物資料整備・調査事業	.....	16
18 伏木曳山祭用具修理事業	.....	17
19 菅笠づくり後継者養成事業、菅笠づくりに関する調査・研究事業	.....	18
20 山車製作技術継承事業	.....	19
21 伝統工芸修理技術者養成事業	.....	20
22 高岡御車山製作技術者育成事業	.....	21
23 伝統工芸産業技術者養成スクール事業	.....	22
24 伝統的工芸品技術・技術継承者育成事業	.....	23
25 伝統工芸産業希少技術継承事業	.....	24
26 次世代クリエイター工房開設支援事業	.....	25
27 文化財等修理補助事業	.....	26
28 菅栽培調査事業	.....	27
29 ものづくり・デザイン科推進事業	.....	28
30 前田家関連史跡調査事業	.....	29
31 町並み保存・都市景観形成補助事業	.....	30
32 金屋町楽市開催事業	.....	31
33 獅子舞大競演会開催事業	.....	32
34 土蔵づくりのある山町筋イベント助成事業	.....	33
35 祭行事・イベント振興事業	.....	34
38 「高岡再発見」プログラム事業	.....	35
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・研究の充実	.....	36
2 文化財の適切な保存管理	.....	37
3 郷土教育と人材育成の継続	.....	38
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 歴史都市高岡 他	.....	39
⑥その他(様式1-6)		
1 たかおかストリート構想に基づく施策・事業の推進	.....	40

**□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)** ..... 41

評価軸① 組織体制		評価対象年度	平成23～24年度
項目		現在の状況	
1 計画の実施と推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	高岡市歴史的風致維持向上計画の実施及び推進に係る連絡調整を行うため、法に基づき高岡市歴史まちづくり協議会を組織し協議する。また、歴史都市形成プロジェクトの推進及び計画に基づく施策・事業の進捗を図るための庁内組織として、副市長をトップとする「歴史まちづくり推進会議」を設置し協議する。その他、必要に応じて都市整備部長をトップとし、関係部局の課長級職員で幹事会を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくりの推進や関連する取り組み状況の市民への周知方法、伝統工芸技術の保存継承対策等の各諸課題について検討した。 【定量的評価】 平成23年度:協議会1回開催、推進会議2回開催、幹事会3回開催 平成24年度:協議会1回開催 推進会議2回開催 幹事会3回開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
第5回高岡市歴史まちづくり協議会 		～平成23年度～ ■第4回協議会(平成24年2月23日開催) ・計画の変更について ・平成24年度の計画推進について  ◎第1回推進会議(平成23年9月1日開催) ・推進会議及び幹事会の設立趣旨について ・計画の概要について ◎第2回推進会議(平成24年2月14日開催) ・計画の変更について ・計画関連施策スケジュールについて  ○第1回幹事会(平成23年7月15日開催) ○第2回幹事会(平成23年10月25日開催) ○第3回幹事会(平成23年12月21日開催)	
第6回歴史まちづくり推進会議 幹事会 		～平成24年度～ ■第5回協議会(平成25年2月20日開催) ・計画の進行管理・評価について ・計画の変更について ・H25年度の計画推進について  ◎第3回推進会議(平成24年11月16日開催) ・H25年度 歴史まちづくりの推進に向けて ・計画関連施策スケジュールについて ・各部局の課題について ◎第4回推進会議(平成25年2月13日開催) ・計画の進行管理・評価について ・計画の変更について ・H25年度の計画推進について  ○第4回幹事会(平成24年7月31日開催) ○第5回幹事会(平成24年11月7日開催) ○第6回幹事会(平成25年1月30日開催)	

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
1 景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 重点区域のうち歴史的風致を形成している地区を景観形成重点地区に指定する。また、市全域に適用している景観形成基準について、色彩基準(マンセル値設定)を新設し、併せて景観法に基づく届出対象行為を拡大し、周辺環境との調和を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度には、重点区域外であるが、本市の景観計画において優先的に景観誘導に取り組んでいく地域として位置付けている新幹線新高岡駅周辺の景観形成ガイドラインを策定し、良好な景観形成の推進を図っている。重点区域内では、平成24年度に伏木地区において「勝興寺まちづくり協議会」を市の条例に基づく景観形成市民団体に認定し、同協議会と協議しながら「勝興寺周辺景観まちづくり計画」を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現状、「高岡市景観計画」は、市民や事業者に対する周知が不十分な状況である。このことから、新たな景観形成重点地区指定の検討、色彩基準(マンセル値設定)や高さ基準等の景観づくりの基準の見直しの検討等について、市民や事業者の理解が得にくい状態となっており、景観計画変更の議論が進んでいない。 今後は、「高岡市景観計画」について、住民説明会等を通じた積極的な周知を図り、景観計画変更の必要性について理解を得ていく。

状況を示す写真や資料等

景観形成重点地区の修景事例



修景前



修景後

- ・修景実施年度  
平成24年度
- ・重点地区名称  
旧北陸街道福岡景観形成重点地区
- ・修景内容  
当該重点地区の景観づくりの基準に沿って、屋根瓦の葺き替えや外壁の修理等を、市の補助金を活用して実施した。

景観づくり住民協定締結に向けた検討会(勝興寺まちづくり協議会)



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成23～24年度
		現在の状況

2 都市計画法の活用

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

山町筋重要伝統的建造物群保存地区において、修景基準及び許可基準を運用し、修理や現状維持、地区内での調和のとれた修景を図る。また、高岡鑄物発祥の地となった金屋町について、伝統的建造物保存地区に決定し、重要伝統的建造物保存地区選定を目指す。  
その他、風致地区に指定している5地区について、地区内の自然的景観を保全し、良好な市街地環境の維持を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年4月に、高岡鑄物発祥の地・金屋町を伝統的建造物群保存地区に都市計画決定した。  
また、都市計画道路について、取り巻く社会情勢の変化に伴い、その必要性が変化していることから、事業未着手路線に関して計画の見直しを進めている。平成24年3月には、未着手都市計画道路のうち、17路線39区間を見直し候補とした「都市計画道路見直し計画」を策定した。

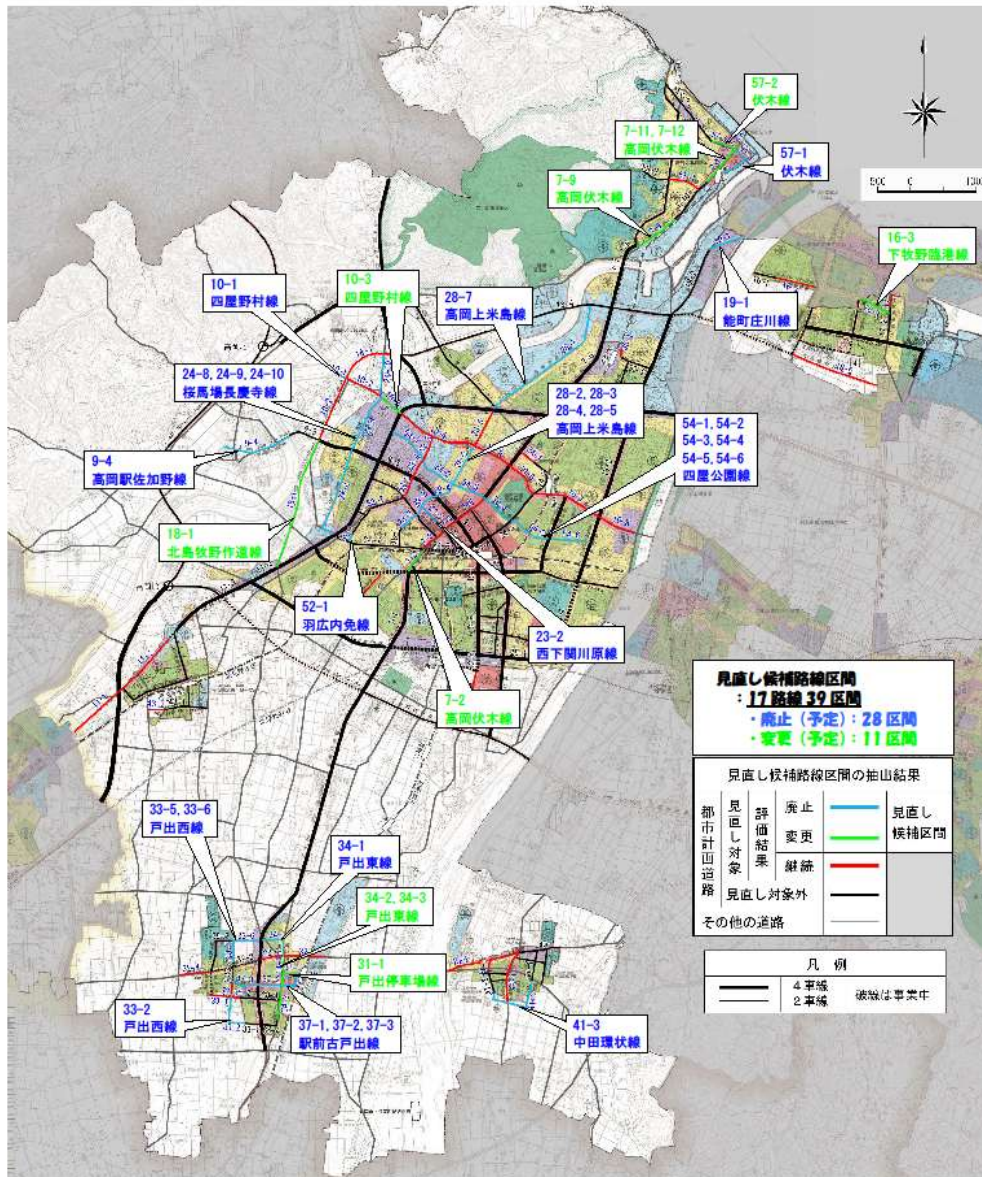
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

都市計画道路見直し計画



評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	

3 屋外広告物に関する規制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---

計画に記載している内容 富山県屋外広告物条例に抵触する違反屋外広告物の是正指導等、適正化の徹底を図るとともに、高岡市条例の制定について検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 平成23年度から、市内の国道・主要地方道沿いに設置されている未許可野立広告物の広告主に条例の普及啓発文書を送付し、適宜是正等について指導している。また、平成24年度からは、富山県屋外広告物条例の改正に伴い既存不適格となった屋外広告物の是正に対して、その費用の一部を補助する制度を創設し、良好な広告景観の創出推進を図っている。

【定量的評価】  
 平成23年度: 文書送付件数316件、指導件数73件、是正件数25件  
 平成24年度: 文書送付件数179件、指導件数35件、是正件数13件、補助件数1件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
1 瑞龍寺保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成31年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 瑞龍寺禅堂の柿葺屋根等に傷みがみられることから保存修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度において以下の工事を実施した。  
 南回廊: 仮設工事、屋根工事ほか  
 法堂: 天井画張替えに伴う仮設工事、天井画の取り外しほか

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 事業期間を平成31年度までとしていたが、実施設計に伴う工事内容の見直し等により、平成32年度まで延長するため、計画変更を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



南回廊仮設組立ての状況



南回廊仮設組立ての状況

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	

**3 勝興寺大広間及び式台ほか10棟保存修理事業**

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成17年度～平成29年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 勝興寺の本堂を除く大広間及び式台等の重要文化財11棟の保存修理事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

各年度において以下の工事を実施した。  
 平成23年度 大広間及び式台:解体工事、木工事、屋根工事、構造補強ほか  
 台所:仮設工事、屋根工事、左官工事ほか、その他  
 平成24年度 大広間及び式台:解体工事、木工事、屋根工事、構造補強ほか  
 台所:基礎工事、左官工事、建具工事ほか、その他

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



大広間揚屋及び木工事の状況



大広間補強鉄骨軸組みの状況(右側)  
 台所屋根葺きの状況(奥)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
		項目	現在の状況
<b>4 市指定文化財保存修理事業</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～平成25年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	市指定文化財の旧秋元家住宅について、経年劣化や損傷が見られることから、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理を実施する。また、必要に応じて、その他の市指定文化財についても保存修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成24年度は保存修理対象となる市指定文化財がなかったため、事業未着手となっている。旧秋元家住宅については、平成25年度に歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理事業を実施する予定である。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		平成24年度は、当該事業の対象となる市指定文化財の該当がなかったことに伴い、事業期間を平成25年度単年度事業にするため、計画変更を行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
6 市内町家等再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 登録有形文化財をはじめとする市内の町家について、それぞれ経年劣化や損傷が見られることから、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理に対する補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

登録有形文化財を歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対し補助金を交付した。(実績2件/当初計画2件)  
 平成24年度:高岡商工会議所伏木支所、若井家住宅主屋

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

高岡商工会議所伏木支所

【修理内容】

樋の取り替え、瓦の葺き替え、  
 窓格子の塗装塗り替えほか



若井家住宅

【修理内容】

漆喰補修、破風板等補修



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	

8 高岡御車山会館建設事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区の山町筋において、既存建築物の跡地を活用して、重要有形・無形民俗文化財「高岡御車山(祭)」の展示等を行う高岡御車山会館を建設する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25～26年度の建設に向けて、基本設計及び実施設計を行った。

平成23年度:基本設計

平成24年度:実施設計

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

高岡御車山会館 完成予想模型(平成24年9月28日 住民説明会にて公開)



・鳥瞰



・鳥瞰(透過)



・展示棟外観(利屋町)



・ガイダンス棟外観(守山町)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成23～24年度
項目		現在の状況	
9 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成13年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 山町筋重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度は、伝統的建造物1棟(主屋1件)について、ファサードの復元、漆喰塗りによる外壁補修、瓦の葺き替え等の修理に対し補助を行った。平成24年度は伝統的建造物3棟(主屋2件、土蔵1件)の修理に対し補助を行った。

- 平成23年度事業内容
  - 伝統的建造物の修理 主屋1件
- 平成24年度事業内容
  - 伝統的建造物の修理 主屋2件、土蔵1件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

[修理事例]  
 平成23年度  
 主屋の修理:ファサードの復元、外壁補修、瓦の葺き替えほか



修理前



修理後

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成23年度
項目		現在の状況	
10 山町筋道路整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)、地方特定道路整備事業

計画に記載している内容 「高岡市山町筋重要伝統的建造物群保存地区」において、電線共同溝整備事業と合わせて、道路修景整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業期間: H19年度~H23年度 路線延長: 580m  
 (H23年度) 実績30m/当初計画30m  
 (事業期間累計) 実施済み580m/計画延長580m  
 本事業は完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

施工前



施工後



電線共同溝整備事業と合わせて、道路修景整備を行った。

	評価対象年度	平成23年度
項目	現在の状況	
11 片原町本郷一丁目線道路整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 「高岡市山町筋重要伝統的建造物群保存地区」において行われている山町筋電線共同溝整備事業と合わせて、これと交差する市道(細街路)について、1街区分の側溝や舗装の修景整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業期間: H23年度 路線延長: 140m  
 (H23年度) 実績140m/当初計画140m  
 (事業期間累計) 実施済み140m/計画延長140m  
 本事業は完了した。

進捗状況 ※計画年度との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

施工前



施工後



側溝や舗装の修景整備を行った。

		評価対象年度	平成23年度
項目		現在の状況	
12 坂下町大町線道路整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 「高岡市山町筋重要伝統的建造物群保存地区」において行われている山町筋電線共同溝整備事業と合わせて、これと交差する市道(細街路)について、1街区分の側溝や舗装の修景整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業期間:H23年度 路線延長:112m  
 (H23年度) 実績112m/当初計画112m  
 (事業期間累計) 実施済み112m/計画延長112m  
 本事業は完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

施工前



施工後



側溝や舗装の修景整備を行った。

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	

<p><b>13 瑞龍寺道整備事業</b></p>	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------------	---

事業期間	平成21年度～平成24年度
------	---------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
-------	-------------------------

計画に記載している内容	新幹線新高岡駅(仮称)から瑞龍寺までの約900メートル区間において、舗装・側溝・道路照明灯・防護柵等の修景整備を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業期間: H21年度～H24年度 路線延長: 900m  
 (H21年度)基本設計、(H22年度)実施設計  
 (H23年度)防護柵130m  
 (H24年度)防護柵 245m、側溝整備407m、デザイン照明灯13基

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	社会資本整備総合計画(都市再生整備計画事業)の第1期計画期間を、H20年度～H24年度までとしていることから、H25年度より第2期計画期間を設定し、H26年度の北陸新幹線開業までの完成を目指して事業を継続するため、計画変更を行う必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等

施工前



施工後



舗装、側溝、道路照明灯、防護柵等の修景整備を行った。

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
16 高岡御車山保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 重要有形民俗文化財「高岡御車山」の山車について、経年劣化や損傷がみられることから、順次修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

各年度において、以下の修理を実施した。  
 平成23年度：一番街通山車の車輪(2輪)及び車軸  
 平成24年度：通町山車の車輪(2輪)、木舟町山車の標旗、一番街通山車の車輪、守山町山車の鉾留

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

[修理事例]

一番街通山車車輪



木工・漆工完了検査の様子



金工完了検査の様子

一番街通山車車軸



完了検査の様子

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
	項目	現在の状況

17 高岡鑄物資料整備・調査事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度～平成25年度

支援事業名 平成23年度:文化財保護活用費補助金(県補助)  
平成24年度:国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 登録有形民俗文化財「高岡鑄物の製作用具及び製品」等について、データベースを整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

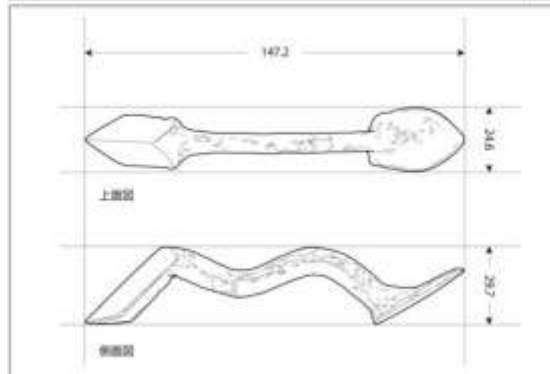
平成23年度:データベースシステムの構築ほか  
平成24年度:データベースの整備、写真解析による見取り図作成ほか

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業期間を平成25年度までとしていたが、対象となる資料点数の増加等により、平成26年度まで延長するため、計画変更を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



作業風景



データベース出力サンプル(裏面)

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
	項目	現在の状況

18 伏木曳山祭用具修理事業

実施済  
 実施中  
 未着手

事業期間 平成22年度～平成24年度

支援事業名 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業

計画に記載している内容 町立で以来連続と続く、金工や漆工といった高岡固有のものづくりの技術を継承し、ものづくりによって文化財が正しく保存活用されるまちづくりを目指す事業の一環として実施する。  
 伝統工芸技術を駆使して、伏木曳山祭に使用する山車を修理し、その様子を記録することによって、ものづくりの技術の向上と継承を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

各年度において、以下の修理を実施した。  
 平成23年度 上町山車の鏡板及び幕押え、寶路町山車の鏡板、母衣武者行列の太刀等用具  
 平成24年度 本町孔雀彫板等、石坂町高欄等、湊町鏡板等

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

[修理事例]

平成23年度

母衣武者行列の太刀等用具修理: 太刀や長刀、弓、胴、肩掛け、烏帽子など一連の用具に漆の剥がれ



修理前(太刀・長刀)



修理後(太刀・長刀・胴)



修理前(胴)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
	項目	現在の状況

19 菅笠づくり後継者養成事業、菅笠づくりに関する調査・研究事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度～平成25年度

支援事業名 平成23年度：地域伝統文化総合活性化事業  
平成24年度：文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業

計画に記載している内容 重要無形民俗文化財である菅笠を製作する体験教室(スゲ栽培、菅笠製作)を実施するなどして、菅笠づくりの後継者育成や製作技術の記録に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

**【菅笠づくり後継者養成事業】**  
菅笠づくり体験教室等の体験事業を通して、過去に生業に携わったことのある経験者2名を開拓することができた。  
平成23年度  
菅笠づくり体験教室：平成24年3月24日～25日 参加者14名  
菅骨づくり見学会：平成24年3月17日 参加者14名  
平成24年度  
菅笠づくり体験教室：  
菅骨づくり見学会：

**【菅笠づくりに関する調査・研究事業】**  
推進員が製作技術等の情報収集を行い、実態調査を進めた。その上で、生業用具調査基礎台帳整備に取り組み、道具類の一括した把握、廃業者等の道具類の散逸防止につながっている。  
また、新聞記事や絵巻、刊本等の資料を収集し、それを元に菅笠製作工程の復元を試みた。具体的には、法然上人絵巻及び守貞漫稿所収の情報を元に菅笠の復元等を実施した。時代考証をふまえた製品の再現ができ、新たな販路拡大を通じた地域活性化の道筋が見えてきた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

菅笠づくり体験教室等に複数年度にわたって継続参加する者もみられ、継続的なサポートが必要となっている。

状況を示す写真や資料等

菅笠づくり



評価軸③-15 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成23～24年度
項目		現在の状況	
<b>20 山車製作技術継承事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～平成25年度		
支援事業名	文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業		
計画に記載している内容	高岡地域文化財等修理協会会員の伝統技術を駆使し、高岡御車山の車輪及び半纏等を製作する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
各年度において、以下の事業を実施した。 平成23年度:御車山を模した車輪の製作(木工・漆工) 平成24年度:御車山を模した車輪の製作(金工)、木部構造見本の製作			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
平成23年度 車輪の製作(木工・漆工)			
			
平成24年度 車輪の製作(金工)			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	

21 伝統工芸修理技術者養成事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度～平成24年度

支援事業名 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業

計画に記載している内容 伝統工芸の分野における文化財修復技法及び知識の習得、技術者の養成を目的に、第一人者による講演会や講習会、実習等のカリキュラムからなる修理技術者コースを開講する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度: 金工分野における事業を実施。参加者5名が幕押金具を模刻製作し、技術技法の修得に取り組んだ。  
平成24年度: 漆工分野における事業を実施。外部講師を招き参加者6名が漆工の各工程の知識技術の修得に取り組んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【平成23年度】

	日程	講師	内容	会場
講演会	平成23年10月8日	桂 盛仁 (重要無形文化財保持者)	桂氏の彫金の技術、技法について	高岡地域地場産業センター
講習会	平成23年10月9、10日	桂 盛仁、鳥田宗吾、佐野宏行	桂氏実演による金工金具の製作について	
実習会	平成23年10月30日～平成24年2月19日	鳥田宗吾、佐野宏行	御車山(木舟町)の幕押金具の模刻製作	
発表・講習会	平成24年3月21日～25日			

【平成24年度】

	日程	講師	内容	会場
講演・講習会	平成24年9月1日	北村昭彦 (重要無形文化財保持者、 選定技術保持者)	漆工品の修理について	高岡地域地場産業センター
	平成24年9月2日		漆工品の復元模造について、 北村氏が実際に携わった模造品を見ながらの講習	
講習会	平成24年10月26日、27日、11月4日	惣田登志樹 (輪島漆芸技術研修所講師)	漆下地と下地工程で使用する道具について	高岡地域地場産業センター
講習会	平成24年12月1日、16日	荒川文彦 (日本工芸会正会員、伝統工芸士)	刷毛の仕立と漆の調合、塗りについて	高岡地域地場産業センター
講習会	平成25年2月10日、16日、17日、3月2日	林 暁 (富山大学芸術文化学部教授、 日本工芸会正会員)	漆塗面の炭研ぎと呂色磨きについて	高岡地域地場産業センター
成果展示	平成25年3月16日～25日			高岡地域地場産業センター



彫金の「打ち出し」技法の講習



「漆塗り」の講習

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
<b>22 高岡御車山製作技術者育成事業</b>	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成25年度

支援事業名 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業

計画に記載している内容 重要有形文化財である高岡御車山は、金工や漆工といった高岡の工芸技術の結晶のひとつであることから、その修理または新調を行うことのできる技術者の養成を行なう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本事業で制作した部材を、御車山会館のメイン展示物の1つとなる「平成の御車山」に活用するため、平成25年1月～3月に、金工分野(飾り金具)の試験制作を行った。  
平成25年1月現在、「平成の御車山」詳細デザインの最終調整中により、金工部材制作未着手。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示

【参考】平成24年5月公開の基本デザイン(下図)を基に、詳細デザインを制作中。

テーマ 「平和な時代 豊かなまち高岡を象徴する 前田利長公の家族」



サブテーマ	家族の絆
ほごどめ 鉾留	鳳凰
ほんざ 本座 (人形)	前田 利長公 いけん 永くたい 〔正装〔衣冠束帯〕〕 えいひめ 永姫 〔利長公の正室(本妻)〕
あいざ 相座 (人形)	まんひめ 満姫 〔利長公の唯一の実子〕
まんまく 幔幕	高岡古城公園の 四季



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成23～24年度
項目		現在の状況	
<b>23 伝統工芸産業技術者養成スクール事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和43年度～(基礎・研究コース)、平成12年度～(専門コース)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	基礎デザインカや工芸技術の習得を目指し、金工・漆工の全6コースからなる伝統工芸産業養成スクールを開講するもの。 また、工房や工場などに受講生が赴くインターンシップも実施し、伝統産業界のものづくり基礎技術の見学、体験を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高岡市の伝統工芸産業である銅器・漆器について、高岡市伝統工芸産業技術保持者、伝統工芸士などを講師に迎え、デザインの初歩知識と基礎技法の修得、工芸品制作に必要な材料、技術に関わる実践的内容を中心に産地の技術力向上、人材育成を目的として実施。 <内容> (1)金工・漆工研究基礎コース(2年間) デザイン概論、工芸技術概論、道具制作、基礎技法、加飾技術を中心に実習。週1回、年間約28回 (2)金工・漆工専門コース(1年間) 加飾技術に加えて、総合的な造形感覚を養う。月2回、年間約19回 (3)金工修理技術コース(2年間) 新設 御車山をはじめとする祭屋台の修理技術の修得を目指す。月1回、年間約8回 <実績> <平成23年度(第22期)> 金工基礎コース 9名(うち修了者4名) 28回/年 金工研究コース 10名(うち修了者7名) 28回/年 金工専門コース 14名(うち修了者9名) 19回/年 漆工基礎コース 8名(うち修了者6名) 28回/年 漆工研究コース 5名(うち修了者5名) 28回/年 漆工専門コース 15名(うち修了者13名) 19回/年 <平成24年度(第23期)> 金工基礎コース 11名(第23期継続中) 28回/年 金工研究コース 7名(第23期継続中) 28回/年 金工修理技術コース(H24新設)(第23期継続中) 7名 8回/年※ 金工専門コース 14名(うち修了者6名) 19回/年 漆工基礎コース 8名(第23期継続中) 28回/年 漆工研究コース 8名(第23期継続中) 28回/年 漆工専門コース 6名(うち修了者6名) 19回/年 <成果> (1)修了生一延べ898名(昭和43年～平成24年3月末) (2)伝統工芸作家、クラフトマン、また産業界の中堅技術者として大いに活躍している。 <input type="checkbox"/>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">金工コース</div>			
彫金の実習 (基礎コース)		彫金、象嵌の作品製作 (研究コース)	
			
			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">漆工コース</div>			
塗りの実習 (基礎コース)		螺鈿の実習 (研究コース)	
			
			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23年度
項目	現在の状況	

24 伝統的工芸品技術・技法継承者育成事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成8年度～平成23年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

伝統的工芸品である高岡銅器、高岡漆器の伝統的技術・技法を伝承するため、その技術・技法を保持する育成者と、そのもとの修得し継承しようとする者に対する支援として、補助金を交付し人材の育成・確保を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度  
銅器◆ 焼型1  
男性1名

上記継承者は現在高岡の鋳物業に勤め、伝統工芸技術の継承者となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

技術習得期間を1年から2年に延長するとともに、技術を活かした独立を奨励するための補助を充実するなど事業内容の拡充を図るため、平成24年度より「伝統工芸産業希少技術継承事業」として実施することとした。

状況を示す写真や資料等

最近3年間の継承事業について



実施期間 ■平成21年4月1日～平成22年3月31日  
継承技術: 銅器 彫金  
育成者 鳥田 稔弘  
継承者 立川 仁美  
現在は自営の着色業を受け継ぎ、作品製作をおこなっている。



実施期間 ■平成22年4月1日～平成23年3月31日  
継承技術: 銅器 ロクロ  
育成者 和田 順吉  
継承者 尾崎 迅  
現在は高岡の鋳物業に勤めるかたわら、作品製作をおこなっている。



実施期間 ■平成23年4月1日～平成24年3月31日  
継承技術: 銅器 焼型  
育成者 大澤 辛勝  
継承者 新田 翔  
現在は高岡の鋳物業に勤め、ひきつづき大澤氏に師事し、作品製作をおこなっている。

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
<b>25 伝統工芸産業希少技術継承事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	技術継承が危ぶまれている高岡銅器、高岡漆器における希少な伝統的技術・技法を保持する育成者とその継承者に対して支援を行なう。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成24年度から、「伝統的工芸品技術・技法継承者育成事業」の補助金額(2万5千円/月から5万円/月)と期間(1年間から2年間)を充実させ、「伝統工芸希少技術継承事業」として実施。 より希少な技術を継承する人材の育成・確保と自立・定住をを促すことで、工芸やものづくり産業の活性化を図る。 平成24年度は以下の内容で事業を実施した。 継承技術 漆器 彫刻塗 育成者 源 謙次 継承者 京田 充弘			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

指導の様子と製作物

漆の下地塗り



漆塗りの完成品



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
<b>26 次世代クリエイター工房開設支援事業</b>	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業技術者、デザイナーなど次世代を担うクリエイターに対する自立支援・活動支援のため、市内の空き家・空き店舗・空き工場を賃借して操業する工房(作業場)などに対し改修費等を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市産業振興に資するクリエイティブ産業(創造産業)分野に該当する者として、工芸家、工業デザイナーなどによる市内での新たな工房(作業場)の開設を対象とした補助金交付要綱を制定  
 平成24年度: 改装・改修費助成2件、賃借料等助成2件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



改装を支援した工房

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成23～24年度
項目		現在の状況	
<b>27 文化財等修理補助事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡地域文化財等修理協会に補助し、高岡の工芸技術の保存継承を図るもの。 また、富山大学芸術文化学部と連携し、文化財修理技術の向上や修理に関する資料データの作製等を図っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・文化財等修理産業創出事業として販路開拓事業(出前講座、パンフレット作成等)、人材育成事業(視察、研修会への参加)を実施。また、産・学・官が連携し漆木の育成・管理事業等を実施(H23・24年度) ・高岡御車山等の修理工程の記録や職人技の伝承資料を作成し、これら記録、資料等のデータベース化を実施。(H23・24年度)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
曳山車輪の修理作業 			
修理に使用する漆を採取するための漆木の育 			
文化財修理の作業技術等の記録、資料、データベースの作製 			

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	

**28 菅栽培調査事業**

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成17年度～

支援事業名 地域伝統文化総合活性化事業、市単独事業

計画に記載している内容 菅田の栽培に関する肥料対策、病虫害対策、乾燥技術等の試験的調査を実施し、菅田作付面積の増加につなげる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度 菅栽培試験田によるデータ収集調査、菅草講演会  
 平成24年度 菅栽培試験田によるデータ収集調査、菅草講演会、菅栽培マニュアルの作成

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



育苗後



菅田刈取



天日干し



菅栽培マニュアル1



菅栽培マニュアル2

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
	項目	現在の状況

29 ものづくり・デザイン科推進事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成18年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の伝統工芸である金工、漆工等を中心に地元の優れた産業について、体験を通じた学習を行う。市内小・中・特別支援学校の5年生、6年生、中学校1年生を対象に、年間35時間の授業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市の伝統工芸や地域の産業について、見たり触れたり体験したりすることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てることにつながった。

平成23年度、24年度は、青貝塗りのブローチや彫刻塗りのオルゴール、錫の小物等の制作に取り組んだ。

【定量的評価】

「ものづくり・デザイン科」の学習を通して、郷土に誇りを持ったり、高岡のよさを再発見したりすることができたと思う児童生徒の割合

平成23年度: 約88% (4033人/4568人)

平成24年度: 約91% (4134人/4533人)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

小学校の取り組み例

学校名	小学校	
学年	5年	6年
タイトル	集中!	職人さんってすごいなあ
写真		
学年	5年	6年
タイトル	青貝塗りのブローチ	彫刻塗りのオルゴール
写真		

児童生徒の作品を、保護者、市民に広めている例



中学校の取り組み例

学校名	中学校	
学年	1年	1年
タイトル	作品出現	錫の小物
写真		

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
	項目	現在の状況
<b>30 前田家関連史跡調査事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～平成24年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 県指定史跡「高岡城跡」の価値を高め、保存することを目的に、発掘調査や文献調査などの詳細調査を実施する。守山城跡の史跡範囲の確認を目的とした調査を実施する。  
 史跡「加賀藩主前田家墓所(前田利長墓所)」の保存・活用を目的に、保存管理計画及び整備基本計画を策定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度: 高岡城跡詳細調査(発掘調査、史料調査、地中レーダー探査、石切丁場関連調査)を実施  
 守山城跡範囲確認調査(現地踏査)を実施、『守山城跡範囲確認調査概報Ⅲ』刊行  
 史跡 加賀藩主前田家墓所(前田利長墓所)整備基本計画書の策定  
 平成24年度: 高岡城跡詳細調査(発掘調査、史料調査、地中レーダー探査、石切丁場関連調査)を実施  
 『高岡城跡詳細調査報告』の刊行、守山城跡範囲確認調査(現地調査)の実施

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない 平成25年度以降も守山城跡の調査を継続することとなったことから、事業期間を平成32年度まで延長するため、計画変更を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

高岡城跡詳細調査(平成24年度)



発掘調査



現地説明会



史料調査



地中レーダー探査



石切丁場関連調査



委員会風景

守山城跡範囲確認調査



現地踏査(平成23年度)



報告書(平成23年度)



現地踏査(平成24年度)

前田利長墓所整備基本計画策定(平成23年度)



委員会風景



整備基本計画書(平成23年度)

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
<b>31 町並み保存・都市景観形成補助事業</b>	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 景観形成重点地区等の区域内で景観づくり基準に適合し、景観形成に寄与する修景を行う者及び景観重要建造物又は景観重要樹木の保存又は管理を行う者に対して補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市景観計画で指定している景観形成重点地区内及び富山県景観づくり条例に基づく景観づくり住民協定が締結されている区域内での修景等事業に対する補助を行った。また、市の条例で認定している景観形成市民団体の活動に対する補助を行った。

平成23年度: 修景補助3件、景観形成市民団体活動補助2団体  
 平成24年度: 修景補助3件、景観形成市民団体活動補助4団体

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

景観形成重点地区の修景事例(平成23年度)



修景前



修景後

店舗壁面サインは撤去し、店舗全体を茶色を基調とした落ち着いた色に仕上げた。また、ペランダ部分に4枚引違い格子戸を設けた。

景観づくり住民協定地区内の修景事例(平成23年度)



修景前



修景後

ポールサインのサイズを小さくし、色も茶色を基調とした落ち着いたものに

景観形成市民団体の定期総会



評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	
<b>32 金屋町楽市開催事業</b>	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～

支援事業名 歴史と文化が薫る商店街モデル事業(県補助)

計画に記載している内容 高岡鑄物発祥の地であり、伝統的な町並みが残る金屋町において、産学官が連携して、ストリートマーケットとイベントを組み合わせた工芸と生活と産業が同居するゾーンミュージアムとなる「金屋町楽市」を開催することにより、金屋町を拠点に、高岡市の中心市街地の賑わい創出を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

来場者に伝統的な町屋や文化に触れる機会を提供することで住民同士や来場者との交流による歴史的町並みの保存につながるとともに、ものづくりのまち高岡の歴史的風致に深く関わる鑄物やクラフト作品に親しむ機会を提供することで作り手の継承や育成につながった。  
 平成23年度、平成24年度は以下の日程で開催し、工芸品の展示・販売のほか大茶会、きもの通り、食のイベント等も行った。  
 (開催日)平成23年度:9月24日～25日 来場者数 24,000人  
 平成24年度:9月22日～23日 来場者数 23,000人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



金屋町楽市



作品群1



作品群2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23～24年度
	項目	現在の状況

33 獅子舞大競演会開催事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

平成23年度で36回となる獅子舞大競演会は、中心商店街全体で取り組んできた歴史あるイベントである。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が長時間に亘って楽しめるイベントとして、市民の支持も高く、市外からも多くの方が中心商店街を訪れており、春の一大イベントとして開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致の重要な要素であり、地域ごとに行われる伝統行事の獅子舞を、高岡の中心市街地で競演し、多くの人に見てもらい機会をつくることで継承につながった。

平成23年度は6団体、平成24年度は8団体の獅子舞団体を市内外から招き、以下の日程で獅子舞大競演会を開催した。

(開催日)平成23年度:5月3日

平成24年度:5月3日

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



獅子舞大競演会1



獅子舞大競演会2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成23～24年度
		項目	現在の状況
<b>34 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業</b>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	土蔵造りの伝統的建造物が集積する山町筋で、町並みの紹介、観光産業の創出等を目的として各種イベントを開催している。 ①山町筋の天神様祭(1月下旬) ②山町筋のひなまつり(3月下旬) ③高岡山町筋土蔵造りフェスタ(8月下旬)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要伝統的建造物群保存地区における土蔵造り建物を活用した各種イベントが行われ、来場者に高岡開町以来の伝統文化に触れる機会を提供するとともに、住民同士や来場者との交流による歴史的町並み保存への理解が深められた。平成23年度、24年度は以下のイベントを行った。 ①山町筋の天神様祭り 山町筋の商家に伝わる天神様を、土蔵造りの建物で通りに面して飾りつけ ②山町筋のひなまつり 山町筋の商家に伝わるお雛様を、土蔵造りの建物で通りに面して飾り付け、ひなまつり茶席、箏曲演奏など ③高岡山町筋土蔵造りフェスタ 土蔵造りの建物での講演会と箏曲演奏、赤レンガ造りの銀行前での映像ライブなど			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



箏演奏会



クラシックカーギャラリー

	評価対象年度	平成23～24年度
項目	現在の状況	

**35 祭行事・イベント振興事業**

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

高岡御車山祭、伏木曳山祭、二上射水神社築山行事、八丁道おもしろ市、御印祭へ補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡御車山祭、伏木曳山祭、二上射水神社築山行事、八丁道おもしろ市、御印祭への補助を行った。高岡の歴史的風致の重要な要素となる祭礼等を支援することにより、それらの継承や担い手の育成につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

高岡御車山祭



伏木曳山祭(けんか山)



二上射水神社築山行事



八丁道おもしろ市



歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	

38 「高岡再発見」プログラム事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 高岡市内の小学校、特別支援学校に在籍している3～6年生の児童が、家族といっしょにスタンプラリー形式で歴史の薫る町並みや建造物、祭りを見学・体験する。

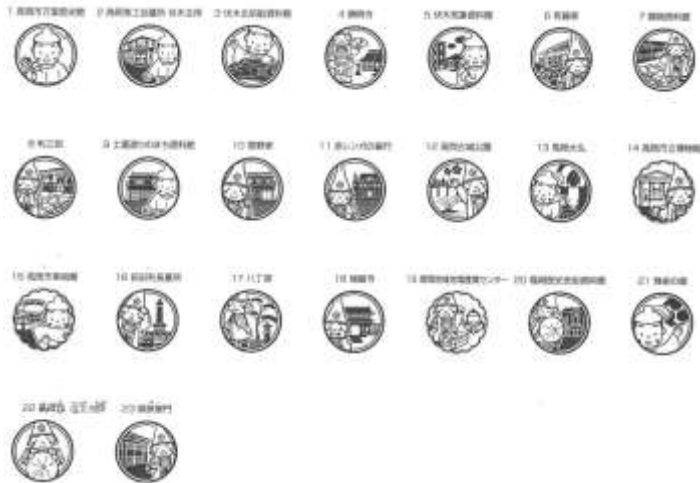
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



スタンプラリー判子一覧

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成23～24年度
項目		現在の状況	
1 文化財の調査・研究の充実		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財に関する認識を一層深めるため、歴史学、考古学、美術史学、建築学、民俗学等、様々な観点からの調査研究を推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の保存又は活用に係る調査・研究として、以下の事業を実施した。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝興寺文化財整理・整備事業 平成23年度:勝興寺所蔵の文書類について調査を実施し目録を刊行</li> <li>・高岡鑄物資料整備・調査事業 登録有形民俗文化財「高岡鑄物の製作用具及び製品」等について、適切な保存管理等を目的にデータベースを整備 平成23年度:資料の整理、データベースシステムの構築 平成24年度:データベースの整備、写真解析による見取り図作成</li> <li>・前田家関連史跡調査事業 平成23年度:高岡城跡詳細調査(発掘調査、史料調査、地中レーダー探査、石切丁場関連調査)を実施 守山城跡範囲確認調査(現地踏査)を実施、『守山城跡範囲確認調査概報Ⅲ』刊行 史跡 加賀藩主前田家墓所(前田利長墓所)整備基本計画書の策定 平成24年度:高岡城跡詳細調査(発掘調査、史料調査、地中レーダー探査、石切丁場関連調査)を実施 『高岡城跡詳細調査報告』の刊行、守山城跡範囲確認調査(現地調査)の実施</li> <li>・市内文書調査事業 平成24年度:武田家住宅所蔵文書等の調査を実施</li> </ul>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>勝興寺文書類調査の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本丸広場発掘調査の様子</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>「高岡鑄物の製作用具及び製品」(一部)</p> </div>			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成23～24年度 現在の状況
----	--------	--------------------

2 文化財の適切な保存管理

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 文化財の指定を推進し、豊かな歴史文化の息づく地域づくりを目指していく。  
各指定文化財について段階的に保存管理計画の策定を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【文化財の保存修理】

- ・勝興寺大広間及び式台ほか10棟保存修理事業  
平成23年度 大広間及び式台:解体工事、木工事、屋根工事、構造補強ほか  
台所:仮設工事、屋根工事、左官工事ほか、その他  
平成24年度 大広間及び式台:解体工事、木工事、屋根工事、構造補強ほか  
台所:基礎工事、左官工事、建具工事ほか、その他
- ・山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業  
平成23年度 伝統的建造物の修理 主屋1件  
平成24年度 伝統的建造物の修理 主屋1件、土蔵1件
- ・高岡御車山保存修理事業等  
平成23年度 一番街通山車の車輪(2輪)及び車軸  
平成24年度 通町山車の車輪(2輪)、木舟町山車の標旗、一番街通山車の車輪、守山町山車の銚留
- ・伏木曳山祭用具修理事業  
平成23年度 上町山車の鏡板及び幕押え、寶路町山車の鏡板、母衣武者行列の太刀等用具  
平成24年度 本町孔雀彫板等、石坂町高欄等、湊町鏡板等

【保存管理計画の策定】

- ・史跡前田利長墓所の整備基本計画を策定

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

山町筋重伝建の修理事例



山町筋 主屋修理前



山町筋 主屋修理後



御車山 車軸の修理

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成23～24年度 現在の状況
<b>3 郷土教育と人材育成の継続</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 伝統技術に関わる専門的な人材の育成を図っていく。  
 学校における総合学習の時間等を利用して、地域の歴史や自然環境、文化財、景観等について、幅広い視点から高岡を学ぶ機会をつくっていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存又は活用に係る郷土教育・人材育成として、以下の事業を実施した。

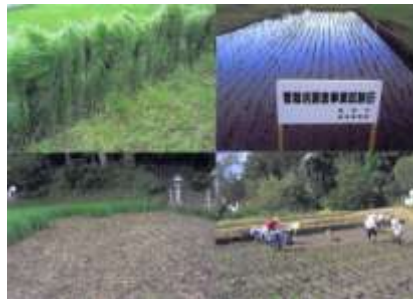
- ・高岡地域伝統技術継承事業  
 伝統産業術者養成スクール事業、後継者確保育成事業、若者技術者育成事業(空き家・空工場を活用した工房づくり)
- ・菅栽培調査  
 菅栽培試験田によるデータ収集調査、菅草の試験栽培の実施、菅草講演会、菅栽培マニュアルの作成等
- ・福岡地場産業支援教育事業  
 国重要無形民俗文化財である菅笠の製作体験教室の実施、菅笠づくりの後継者育成や製作技術の記録等
- ・伝統工芸産業技術者養成スクール事業  
 高岡銅器、漆器についてのデザインの初歩知識と基礎技法の修得、実践的内容を中心とした技術力向上等
- ・伝統工芸技術希少技術継承事業  
 希少な技術を継承する人材の育成・確保と自立・定住を促すために、補助金を交付
- ・文化財等修理補助事業(P26参照)
- ・ものづくり・デザイン科推進事業  
 オリジナルプレート(銅器)、オルゴール(漆器)、わら・菅細工等の制作授業を実施
- ・祭行事・イベント振興事業  
 二上射水神社築山神事、御印祭ほか
- ・獅子舞大競演会開催事業、土蔵造りのある山町筋イベント助成事業、金屋町楽市開催事業(P31～33参照)  
 イベント助成事業を実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



金屋町楽市



菅栽培調査

評価軸⑤  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
シリーズ『ヒストリア高岡』(特集9回、8シリーズ連載合計61回)～シリーズ内容～ 第1弾:勝興寺 第2弾:金屋町 第3弾:瑞龍寺 第4弾:高岡城跡 第5弾:新幹線新駅～瑞龍寺 第6弾:伏木 第7弾:吉久 第8弾:山町		H23.7.20～H24.2.29	北日本新聞
高岡商工会議所が旧町名復活へ調査		H23.9.18ほか	北日本新聞、富山新聞他
歴史都市高岡		月曜・水曜24:53～24:58 火曜21:54～22:00 木曜・金曜11:25～11:30 放送中	北日本放送

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に係る各種報道等を通じて、市民自ら高岡の歴史を再認識し誇りと愛着を持っていこうとする機運が高まった。認定を契機に、高岡商工会議所が中心となってまちの成り立ちを表す旧町名復活の取り組みが行われており、また、平成24年度には高岡商工会議所青年部が「歴史都市高岡委員会」を発足させ、高岡の歴史をわかりやすく説明したPRブックを作成・配布した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり  
計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



H23.9.18 北日本新聞



歴史都市たかおかPRブック



H23.7.20 北日本新聞

評価軸⑥  
その他

評価対象年度 平成23～24年度

項目

1 たかおかストリート構想に基づく施策・事業の推進

計画に記載している内容 平成26年度末の北陸新幹線開業を見据え、「歩いて楽しいまちづくり」をより一層推し進めるため、新幹線新駅からJR高岡駅を経由し金屋町までの範囲を対象にした魅力的な「通り」を創出していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

高岡の歴史的風致を堪能できる歩行系回遊ルートを決めるとともに、歩くこと自体を楽しんで散歩できるように、ハード・ソフト両面から整備や魅力づくりを進めるための指針として、平成24年3月に「たかおかストリート構想」を作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応

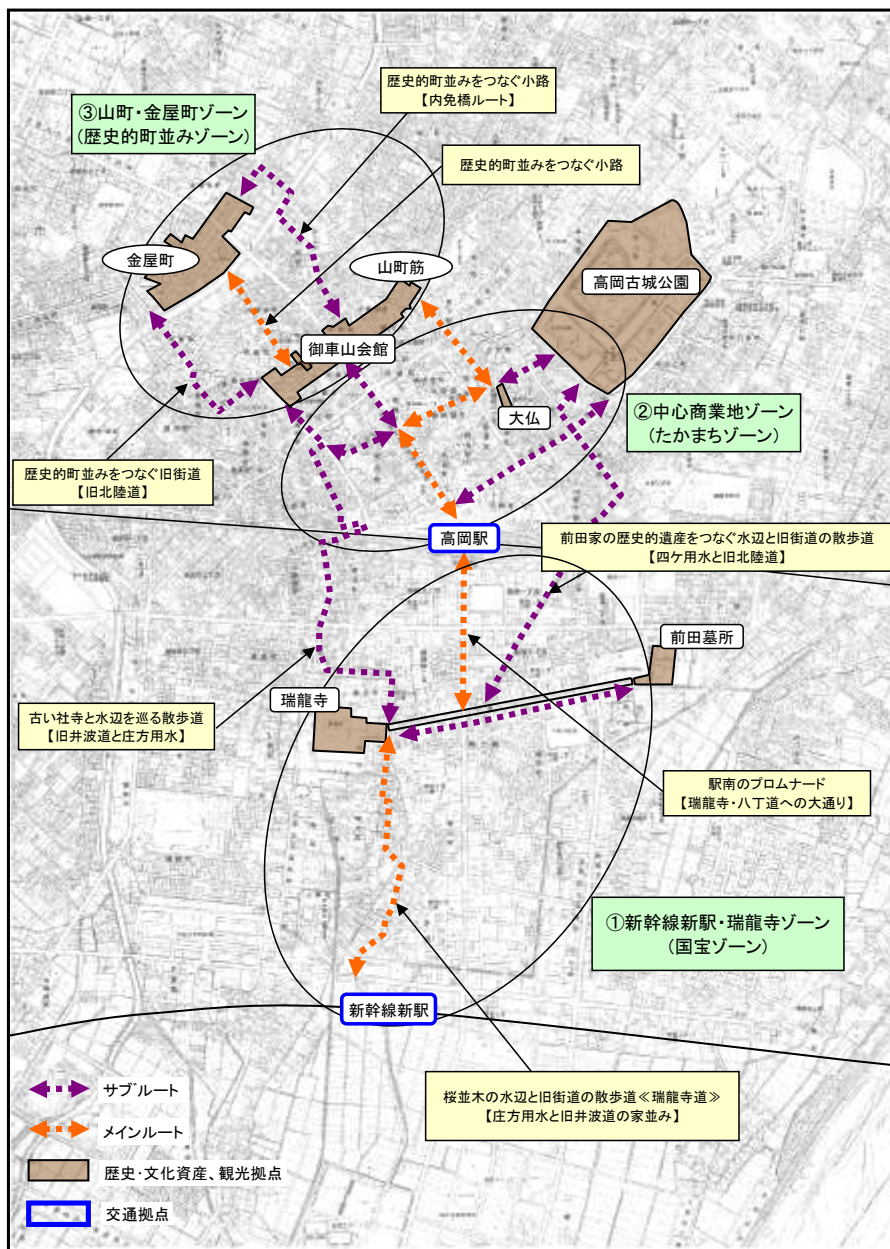
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

平成24年度には、ルートの案内性を高めるための「サイン計画」や、「歴史的町並みをつなぐ小路(新幸橋ルート)」の整備計画を策定した。平成25年度からは、これら計画に基づき整備を図ることとしている。

状況を示す写真や資料等

たかおかストリート構想ルート図



法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成23～24年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第4回高岡市歴史まちづくり協議会 第5回高岡市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時: 平成24年2月23日(水)午後2時～午後4時(第4回) 平成25年2月20日(水)午後2時～午後3時30分(第5回)	
(コメントの概要)	
～第4回協議会～	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観について、高岡の文化が感じられるような材質を使用して高岡らしさが出る整備をしていく必要がある。</li> <li>・歴史まちづくりの推進には、歴史的な古いものばかりでなく、近・現代的な新しい要素も織り交ぜて、トータルな魅力を引き出す視点が必要である。</li> <li>・高岡にはものづくりの職人文化が今も残っていて、山車などを修復できる環境にあり、このことをもっと全国に見せていくべきである。</li> <li>・文化財の修理、修復の状況も観光資源になりうるものであり、修理、修復の見学情報等をホームページにアップし、発信していくことも考えられる。</li> <li>・修理などの技術の過程が見ていて面白いものであれば、どんどん公開していくべきである。そのことが継承者発掘のきっかけにもなるはずである。</li> </ul>	
～第5回協議会～	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要伝統的建造物群保存地区に選定された金屋町については、伝統的建造物保存地区の本来の目的を逸脱せず、過度な観光化が進まないように注意する必要がある。</li> <li>・菅笠づくりの後継者育成については、行政のPRも重要で、若い世代に「菅笠づくり」という仕事があることを知ってもらう必要がある。</li> <li>・山町・金屋町道路整備事業に係るカラー舗装については、質の高いものになるように、その手法について十分に検討を重ねてほしい。</li> <li>・道路の路面整備だけでは不十分であり、周辺の建築物等の景観整備も必要である。</li> <li>・「歩いて楽しいまちづくり」を推進するためには、高岡市歴史まちづくり計画に位置づけた個別事業の成果を、線でつなぐことが重要である。また、道中には休憩施設やトイレなどが必要で、距離感のつかみやすいマップも必要である。</li> <li>・ルート上に設置されているオブジェを道標とし、それを鋳物で製作すれば高岡らしさが出てよい。</li> <li>・まち歩きのためのパンフは、あまり内容を盛り込みすぎずに簡易な内容のものがよい。</li> <li>・歩いて楽しんでもらうには、車の通行を制御する工夫も必要である。</li> <li>・今後の歴史まちづくりを推進するにあたり、同じ北陸地方の認定都市である金沢市との連携を強化することは、意義のあることである。連携により、高岡の歴史の魅力がより高まり、厚みの増す。</li> </ul>	
(今後の対応方針)	